

心に残る・未来に残したい記憶

佃島・月島百景

～第1集～

実施団体：一般社団法人 和のたしな美塾 代表 宮本喜恵子
協力：芝浦工業大学教授 志村 秀明
月島長屋学校
ポケット・クリエイション 源 資

1

◇事業の趣旨

佃島・月島に長く暮らす方々の「生活の記憶」を動画で記録し、各種コンテンツを編纂

『佃島』

- 佃島が空間的にも社会的にも保全されるために、現代に生きる佃島の価値を示したい。
- 過去の歴史ではなく、歴史が現在まで脈々と受け継がれ、息づいていることを、島の内外の住民を含めた多くの人々に知ってもらいたい。
- 歴史的な文脈と生活文化が、将来のまちづくりに役立つことを知ってもらいたい。

『月島』

- 古き良き時代の月島を知る方々の高齢化や、再開発等による町並みの急激な変化のなかで、心に残る月島の風景とエピソードを後世に残し、語り継いでもらいたい。
- 長く暮らす方々の「生活の記憶」を通して、わが町への理解・愛着を深め、世代間交流を育み、「支え合い 助け合う」コミュニティづくり・まちづくりに活かしていきたい。

◇オーラルヒストリー(記憶の採集)実施状況

「佃島百景～第1集～」

佃1丁目・渡邊信夫さん

佃1丁目・山本商店 山本征子さん

佃1丁目・櫻木龍吉さん

佃1丁目・中澤優さん



◇オーラルヒストリー(記憶の採集)実施状況

「月島百景～第2集～」

- 佃3丁目 ・ 宮本邦夫さん
- 月島1丁目 ・ 黒野富太郎さん
- 月島1丁目 ・ 月島テレビ 保田清さん
- 月島3丁目 ・ 馬場吉昭さん 高梨昌久さん
- 月島3丁目 ・ 荷出恵子さん
- 月島2丁目 ・ 元気喫茶 塚田晶子さん
- 月島3丁目 ・ あずまや 楠香一さん
- 月島1丁目 ・ 亀とき 野村時栄さん
- 月島3丁目 ・ 大山隆三さん
- 晴海3丁目 ・ 中沢孝子さん
- 月島3丁目 ・ 三代目 刃物の左久作さん



◇2019年度の活動(成果物の活用)

▶家族や町の歴史を映像や冊子で
残す活動の一つとして紹介

6月12日(水) 佃シニアセンター



6月26日(水) いきいき桜川



▶ビデオ上映、活動PR

6月28日(金)
月島四之部町会 役員会



◇2019年度の活動(イベント参加)

▶「イナっこ教室2019」
(社会福祉協議会主催)
8月21日(水) 10:00~12:00

「月島の昔にタイムスリップして親子で楽しむまち歩き」
(小学4年生以上)



佃の渡邊信夫さんによる
佃説教所の説明

◇2019年度の活動(イベント参加)

「中央区まるごとミュージアム2019」(中央区主催)参加
11月4日(月・祝) 10:00~16:00

志村教授講演、ビデオ上映、AR動画付きマップを使ってまち歩き



「区民企画講座(区民カレッジ)」(中央区主催)実施

「長くお住まいの方に聞く 語り継ぎたい町の記憶 月島」
11月27日(水)、12月5日(木) 14:00~16:00

- ビデオ上映
- ゲスト3名の回顧談
- 三つの年代別の地図で文化財サポーター黒野さんが解説
- かね重 寺本さんによる商店街の成り立ち(資料をご用意いただき解説)
- 町歩きスポット紹介

◇ビデオ上映会 & 講演・意見交換会(2020年2月15日実施)



各50分程度に編集したものをご覧いただきました。

「佃島編」では、4名の方のお話を文献、写真、動画などを交えて制作。

「月島編」では、それぞれの場所に因んだエピソードを、12名の方のお話、地図や写真などを入れながら制作。



佃島・月島らしい人々の営みと生活文化に関するインタビュービデオを制作し公開しています。土地の記憶、長く暮らす方々の生活の記憶に触れることが、まちへの理解や愛着を深め、新たな交流を育み、未来のまちづくり・コミュニティづくりに有意義だと考えています。活動を始めて2年目となりました。今年も、今年度収録したビデオの上映&講演会を行います。お誘いあわせのうえ、お気軽にご来場ください！

日時：2020年2月15日(土) 10時～16時
場所：月島区民館(入場無料)

10:00～14:00 「佃島百景」「月島百景」ビデオ上映

【佃島百景】江戸時代から続く歴史と伝統が今も息づく佃。お祭り、人々の心意気、漁師の生活、駄菓子屋…佃ならではの興味深いオーラルヒストリー(口述歴史)動画を上映
 【月島百景】昭和20年代～50年代の暮らし、路地の風景、水辺、遊び…12名の生活の記憶

※上記時間内で繰り返し上映しますので、途中からでもお気軽にお立ち寄りください



14:00～16:00 芝浦工業大学 志村秀明教授 講演、意見交換

- ◇佃島・月島における「まちづくりオーラルヒストリービデオ」の意義
- ◇佃島漁業組合の変遷、仲卸の変遷、門徒講の変遷など
- ◇意見交換会：動画の感想、活用等についてご意見をいただきます

※内容が予告なく一部変更になる場合がございます

お問い合わせ・主催

一般社団法人 和のたしな美塾 代表：宮本季依
 メールアドレス：info@wanotashinami.org
 ホームページ：tsukishima100.com

協力 芝浦工業大学地域デザイン研究室
 月島長屋学校
 月島西之部西町会
 ポケット・クリエイション



佃島百景～第1集～ 上映約50分

お話しいただいたエピソードの「*」マークは、本日上映する動画に盛り込まれています
(一部抜粋している場合もあります)
各話のフルバージョンは、後日「佃島・月島百景ホームページ」に掲載予定です。



渡邊信夫さん

佃1丁目(上町)昭和20年生まれ。佃島小学校～月島第三中学校卒業。先祖は網元。父親の代まで長男は平五郎を名乗る。祖父は「佃の平熊」で名が通る網元。東京市が佃の渡しを運営するまで渡し守りもやっていた。石川島播磨重工に勤務。現在、佃島説教所門徒講の役員。

[エピソード]

* 築地本願寺の再建に尽力した佃島漁師 * 屋号「平熊」の由来と隆盛
* 渡邊家の家系 * 網元だった父の思い出 * 佃盆踊りの由来
祭り・神輿の思い出 子どもの頃の遊び 生家(古い漁師住宅) など



櫻木龍吉さん

佃1丁目(下町)昭和18年生まれ。佃島小学校～月島第三中学校卒業。櫻木家の屋号は、日本橋魚河岸時代は「佃庄」、築地魚河岸時代は「庄五郎」。20歳から60歳まで魚の卸売会社に勤める。

[エピソード]

* 子どもの頃の遊び(昭和30年頃) * ハゼ釣り(昭和30年頃)
* 佃川沿いにあった櫻木家の階段(昭和30年頃)
* 家業の賑わい(昭和初期・兄の手記) * 母が営んでいた駄菓子屋(昭和22～30年頃) * 最後の海中渡御(昭和37年) など



中澤 優さん

佃1丁目(東町)昭和21年生まれ。佃島小学校～月島第三中学校卒業。中澤家は父親の代まで漁師。18歳から築地魚市場で勤める。現在、住吉講役員。

[エピソード]

* 住吉講(現代) * 漁師だった父の手伝い(昭和25～36年頃)
* 銭湯～佃小橋 夕方の光景(昭和20年代) * おっかないお年寄り
* 隅田川で泳いだ少年時代(昭和27年頃) * 上町・下町・東町の対抗意識
(戦前) 信仰(神社・お稲荷さん) など



山本征子さん

昭和19年生まれ。100年以上営む駄菓子屋山本商店の三代目(佃1丁目)。昭和42年に嫁ぎ、姑の後を任され店を切り盛りして30年以上になる。渡船場通りに面したお店の前は子どもたちのコミュニティの場でもあり、佃のマンションや月島の子どもたちがよく遊びにやってくる。

[エピソード]

* 山本商店の変遷 * 昔の子ども 今の子ども
* 駄菓子屋店主から見た子どもの世界 など

月島百景～第2集～ 上映約50分

お話しいただいたエピソードの「*」マークは、本日上映する動画に盛り込まれています
(一部抜粋している場合もあります)
各話のフルバージョンは、後日「佃島・月島百景ホームページ」に掲載予定です。



保田 清さん

昭和8年佃(2丁目)生まれ。
佃島小学校卒業。佃にて(株)月島テレビ商会を起業したのち、西仲通り商店街に移転。当時の奮闘記が「月島テレビ物語」という映画にもなったという。
月島二之部、西仲共栄会などの役員を歴任し、月島の発展のために尽力する。

[エピソード]

特攻隊員だった兄が復員してきた時の話(昭和20年頃) 「月島テレビ」を起業した頃の話 * 佃で開業し自ら組み立てたテレビを放映した時の賑わい(昭和30年頃) 千葉・愛知にテレビを届け放送が流れた時の話(昭和30年代) * この仕事を「天職」と感じた経験(昭和35-38年頃) など



黒野富太郎さん

昭和12年月島生まれ。月島第一小学校～月島第一中学校卒業。
疎開以外は月島暮らし。中央区で浜町体育館の運動指導員、
現在、文化財サポーターとして活躍中。

[エピソード]

* 隅田川 大洋漁業 大型船船員の釣り練習 製氷工場の思い出(昭和23-25年頃) * 月島川から船で釣りに出掛けたが…(昭和25年頃) * 朝潮運河でゴカイを捕る(同) 月一中ができる前は芋畑だった(昭和20年代前半) など



宮本邦夫さん

昭和14年明石町生まれ。昭和19年に両親の出身地である長崎に疎開。小学校を卒業後、昭和27年に月島に戻り、以後、月島および佃に暮らす。職業は経営コンサルタント。ピーター・ドラッカーの愛弟子であり、自身も100人を超える弟子を持つ。

[エピソード]

(昭和19年)長崎への疎開 * 西仲通り夜店 食料不足(釣り・潮干狩り)配給(昭和27年頃) * 米軍に接收されていた頃 1軒に数家族が暮らしていた遊び * 路地の風景 * 隅田川で泳いだ(昭和30年以降)街頭テレビ 中学卒業後に月島機械に勤めながら夜学に通った頃 など



馬場吉昭さん

昭和15年月島生まれ。月島第一小学校～月島第一中学校卒業。
職業は理容師。
祖父の代から数えて三代目。町の移り変わりを眺めてきた。

[エピソード]

強制疎開で取り壊された家 子どもが多かった小中学校時代 上級生の就職先をお願いして回った中学時代(昭和28年頃) * 月島の産業 * 草市(昭和2～30年代) 月島周辺の映画館 都電・勝鬨橋など交通事情(昭和30年代前半) * 以前の住居表示・町名(～昭和40年頃まで) など

月島百景～第2集～ 上映約50分

お話しいただいたエピソードの「*」マークは、本日上映する動画に盛り込まれています
(一部抜粋している話もあります)
各話のフルバージョンは、後日「佃島・月島百景ホームページ」に掲載予定です。



高梨昌久さん

昭和15年月島生まれ。
月島第一小学校～月島第一中学校卒業。
馬場吉昭さん、宮本邦夫さんの一つ下の後輩。
東芝勤務。テレビ産業が好景気の時代に従事。
現在はバードウォッチングなど趣味多数。

[エピソード]

* 築地市場で食べ物を… (昭和21年頃) * 急いでいるときに勝鬨橋が上がる (昭和30年代前半)



中澤孝子さん

昭和14年生まれ。中学生の頃、勝どきに転居。結婚後、月島で40年間、筏師(東港運輸)だったご主人を支え、共に歩む。ご主人は昭和37年筏乗り全国大会(清水大会)一本乗りの部に東京代表として活躍。現在、晴海在住。

[エピソード]

* 筏師だったご主人の思い出 * 伊勢湾台風の被災地を支援した話 など



大山隆三さん

昭和26年月島生まれ。
月島第二小学校、月島第二中学校卒業。
祖父の代から数えて月島で三代目。職業は元寿司職人。
父は月島警察署の警察官。人情味のある人柄は多くの人に慕われた。

[エピソード]

* 生まれ育った月島12丁目の駐在所 * 人情味溢れる父のエピソード
* 水上生活者の同級生 (昭和40年頃まで) 母の思い出
子どもの頃の遊び 「月四・月島フライヤーズ」野球練習後の反省会
自転車で遠乗り 勝鬨橋 (主に昭和40年頃までのお話) など



楠 香一さん

昭和28年生まれ。月島第一小学校卒業。
趣味のお履物「あずまや」四代目店主。
現在中央区内に残る履物店四店のうち一店として頑張っている。
先祖は築島と同時に月島にやってきて住み始めた。

[エピソード]

* 路地での遊び・駄菓子屋のばあさん * 月一小的映画大会 * 月島川
わたし公園(泥だんご) 東雲・晴海での遊び(オオト、スズメのヒナ)
都電で日比谷公園に行きセミ捕り 東映の映画館 (主に昭和40年頃までのお話) 履き物屋の話 など

月島百景～第2集～ 上映約50分

お話しいただいたエピソードの「*」マークは、本日上映する動画に盛り込まれています
(一部抜粋している場合もあります)
各話のフルバージョンは、後日「佃島・月島百景ホームページ」に掲載予定です。



左久作さん

昭和30年月島生まれ。月島第一小学校卒業。日本で唯一の江戸鍛冶。祖父・父を継いで三代目左久作となるが、江戸鍛冶としての血筋をたどると江戸時代初期にまで遡る。大工・木工職人等からのオーダーメイドで274種類の刃物を作る。包丁・刀など人を殺傷する刃物は一切作らない(包丁研ぎは承ります)。

[エピソード]

国際見本市の思い出 *大洋漁業(マルハ)周辺での遊び(昭和30年代後半) *草市(昭和3～40年代)の興奮 *月島に鍛冶屋がいた頃 *商店街での買い物 立飲み屋・路地の夕方の風情 清澄通りから見えた富士山 江戸鍛冶について など



荷出恵子さん

昭和34年月島生まれ。月島第三小学校～中央区立第三中学校(佃中、晴海中の母体校)卒業。
月島で洋服の仕立業を営む両親のもと兄妹と共に「狭いながらも楽しい」長屋で育つ。元小学校教員。

[エピソード]

*子供の頃の暮らしぶり *商店街での買い物 *商店、銭湯の思い出 朝潮運河(筏、昭和初期泳いでいた頃の話) 洋服の仕立てをしていた父のこと 無尽 *西仲の盆踊り大会 祭りを楽しむ女性 など



野村時栄さん

昭和32年月島生まれ。月島第一小学校～月島第三中学校卒業。月島1丁目にあるお食事お酒処「月島 亀とき」の二代目女将。父親は筏師(豊組)。幼少期、ポンポン船に乗せてもらったのが父親との思い出の一コマ。

[エピソード]

筏会社に勤めていた父のこと *子どもの頃の遊び(石炭場) 駄菓子屋 *父と銭湯に行く楽しみ *父と東京湾で見た夕陽 ご近所づきあい きちんと怒るお年寄り(昭和30年代後半から40年代) など



塚田晶子さん

昭和37年月島生まれ。月島第一小学校～中央区立第三中学校卒業。月島2丁目で、長屋を自ら改装した糰(こうじ)カフェ「元氣喫茶」を営み、地元の人々に憩いとコミュニケーションの場を提供している。

[エピソード]

*改装中の苦勞と楽しみ お客さんとの会話 など



◇ビデオ上映アンケートより

Q 当活動で制作したDVDや小冊子を配布したらしいのではないかと、と思われる方、団体、施設等があればご紹介ください。

- 他区へ。台東区の商店街へ。
- 都内の図書館。中央区内の小中学校、高校。
- 月島日本語倶楽部。エンジョイ・クラブ。
- 公共施設（小、中、高、大学）。図書館。
- 中央区文化財サポーター協会
- 老人ホーム（晴海デイサービス、勝どき敬老館、佃シニアセンター）。後から聞いた話では、デイサービスでは新しい住民も多いので、昔を知っている人はあまり多くないかもしれないとのことです。月島図書館（地元の資料として、地元図書館に置くべきだと思います。館長さんに一度このビデオを見て頂いてはどうでしょうか。または、図書館で視聴会を開いてもらうとか...）
- 郷土天文館や区内図書館。中央区観光情報センターにも紹介してください。
- 月島駅（メトロ車内のTV）。公民館。学校。図書館。アンテナショップ。銭湯（サウナのTV。スーパー。他の地域で同じようなことをしている団体。映像施設があって、人が集まる所（映画館、カラオケ、駅の待合室）。
- 個人的に欲しいです。
- 中野区へ。そして提携町村である群馬みなかみ町。
- 中央区教育会館。日本橋。月島。築地。
- ビデオストーリーの件、難しいとは思いますが月島、佃島に引き続き、築地、明石町、そして私の住む浜町まで拡げただけならば素晴らしいなと思いました。

Q 本日のイベントについて、ご感想やお気づきの点等あれば、お願いします。

- 回数を増やしては？
- 結論は出ないが、気づきが多くあった。
- すばらしい活動だと思います。
- おもしろかったです。昭和30年代の光景を取り上げていただきたい。
- 予想以上の人たちが来訪し、関心の高さに驚いた。
- 地元以外の方にこの記録をどう知ってもらうか、仕組みづくりが大事だと思います。
- 月島に60年少々住んでいますので、以前のことはとても懐かしいです。
- 大切なことをやっていたら嬉しいのだと、あらためて感じました。来年も楽しみです。
- 多くの方でにぎわっていて、楽しい会ですネ！
- 映像について。興味深いお話に、実際に現地（隅田川など）で話をしたり、当時の写真や現在の映像（まつり）を使われていたので、当時を想像したり、内容の理解がしやすかったです。
- 佃、月島のビデオ放映は、別々にやって欲しかった。
- とても貴重な話、おもしろいエピソードを聞いて楽しかったです。ありがとうございました。
- 高層マンションがどんどんできるが、人の心が変わらないように願っている。
- 私の母が楽しんで、昔を懐かしみながら見ていました。その後、ご近所の友人と感想を語り合ったりして、よくおしゃべりをしていました。是非またの機会を持って、見せて頂きたいと思いました。
- 今後、さまざまな機会を設けて、広く発信して下さい。
- 年齢が高めの方のコンテンツが多いので、若い人には“共感”という意味ではインパクトが弱いかも。現状と対比するようなものや、年齢層を下げてインタビューもあるとよいかも。
- とても感動しました。
- 月島、佃島の昔を拝見して、とても勉強になりました。
- 今度、こちらの方に引越しをしてるので、歴史を知れて、大変参考になりました。
- 昔話が興味深かったです。
- 講演をお聞きして、とても感動致しました。20代に大阪西淀区の佃の隣の千船に住んでいたので、同じ佃の名前にこんな由来があったのだと驚きましたし、とても似た印象もあったと思い出しました。大分県日田市出身で豆田地区が文化財保護地区でもありましたので、とても意味のある本日の時間だと感じております。
- ほとんどが50代より上の方とお見受けしました。海外の方(アジア系の方)も何人かお見かけしました。これからのまちづくりを考えると、もっと若い方(現地に住む男性・女性・子供・海外の方も)主体的に関わって興味を持っていただくための?月島百景?ヒストリー映像制作だと認識しています(映像制作と意見交換会の開催目的)。まちは、現地の生活者とともに現在から未来へ日々創り上げられていくものだと感じています。その土地(月島)に住むということは(現在・過去・未来)に密接に関わっていくということです。現在住む場所の過去はどんな歴史があったのか(記録、映像での補完)、これから住む場所はどのように変わっていくのか(進む未来図)、そして、日々生活する者としてこの月島に何を望むのか(現在)を一人一人が考えていく必要があるのかなとも思います。交流も含めて未来予想図が描ける場所に人は今後も住みたいと考えますので。

◇ビデオ上映会 & 講演・意見交換会(2020年2月15日実施)



午後2時から芝浦工大の志村教授の講演「佃島・月島におけるオーラルヒストリービデオの意義」について、同大学生一色さんの「東京都中央区佃島の地域社会の変化に関する研究ー佃島漁業組合、佃仲卸業者、佃門徒講、佃住吉講に着目してー」の研究発表を聴いていただきました。



その後のグループ別討議でも、多くの方々にご参加いただき、「オーラルヒストリービデオについて」「これからのまちづくりについて」に関する様々なご意見やアイデアをいただくことができました

◇意見交換会で出された意見等（A・B・Cはグループ名）

【オーラルヒストリービデオについて】

- A・スクリーンが大きい。 ・字幕が良かった。 ・懐かしいストーリー。
・人の思い出話が面白い。 ・個の歴史を知ることができた。
- B・インタビューに応じた人はとてもよく撮影され編集の素晴らしさにも感激、拍手。晴海に52年住む高齢者だが、感激。当時のことを思い出した。DVDは鮮明で編集のご苦労も（佃島、月島とも）。
・貴重な記録になる。 ・子供の頃の記憶がよみがえる。 ・低コストな記録。
・心温まる話。昔は人々の交流、結び付きが今よりあった。
・このビデオを見て、高齢者が元気になり、よく喋っていた。
・駄菓子屋＝子どものコミュニティ、居場所としてとても大切さを感じた。
・デイサービスや老人ホームで見てもらってはどうか。
(SNS)
・「webにアップロードする」このこと自体を広く知らせる必要がある。
・中央区のMXTVでは水辺の風景だけを流しているが、このようなオーラルヒストリーを流すと良い。
・SNSを通じ活動を発信する。
・英語の字幕をつけてはどうか。外国人に興味を持ってもらう。
・YouTube等で海外に発信（地元の人には観光客等があふれると嫌がるか）。
(新人)
・多くの人に見てもらおうこと！ ・住民に町の価値を再認識してもらおうこと。
・新しい住民が街をどのように見ているのかについての取材も欲しい。
・こうした活動をメディアにも売り込み、取り上げてもらう。
・若い人へも知りたいことは何かをインタビューする。
・新旧住民へのインタビューを行う。
(行政)
・地元議員を取り込む。 ・中央区にプレゼントして働きかける。
・かつての街並み保存に関して、行政のまちづくりや再開発担当や区長に直撃インタビューを行う。
・街並み保存vs再開発 対立するコンセプトを闘わず。
- C・テーマごとに複数の人が喋っているのが良い。
・文献だとオフィシャルなことしか載っていないため貴重。
・空気感が伝わる。映像だから良い。
・体験談のため、ストーリーがある。頭に入りやすい。
(改善点)
・若い世代の話もあると、共感を得やすいのでは。
・これを見た若い世代にインタビューしてオーラルヒストリーをつくる。
・視、聴覚以外も何とか伝えていく。

【これからのまちづくりについて】

- A（佃島）
・住んでいる人が多い中でどうするか。 ・後継ぎのサポートをどうするか。
・区として景観にお金を使うべき。 ・効率重視になっている。
- （月島）
・新旧を残す。 ・日本全体についても考える。 ・街並みを残すための条例。
・今の月島を残しつつ。 ・佃説教所の建て直し。
- B（佃島）
・町の人口が減少した時代に、まちから無くなったもの、施設など、昨今のようにまちの人口が増加したにもかかわらず戻らない施設をリストアップしたらどうか。
・個人商店を守る（存続させる）。
- （月島）
・急増する人口に対して地域コミュニティをマネジメントするシステムづくりが必要。
・高齢化への対策。 ・普遍的なもの ・保有するものを見極める。
・まちの再構築（インフラ含め）を明確に分けてまちづくりを行政とともに地域が推進していく。
- （佃島・月島）
・路地文化の継承！ ・新規参入店（個人経営）を大切にする。
・このビデオがまちづくりにはつながっていかないのでは？広げていく方法は？
・どうしていききたいか、中・長期で計画を立てる。
・新富町のように近くの街とも仲良くし、人が来る町にする。
・まち並みを残すべきと思うが、地元の地権者が動かないかぎり難しい。
- （イベント）
・シーズンごとのイベントを打ち出し、外からの人を取り込む。
・まちコンなどを定期実施で若い人を取り込む。
- C（佃島）
・高さだけではなく、街づくりには低層住宅に。 ・「騒音」の捉え方。
・街らしさを残せ。盆踊り。 ・高層マンションの20年後はスラム化か。
- （月島）
・生活景が見えるまち。 ・防災上建替は必至。

◇今年度の成果物1 ...ホームページの更新・機能の追加



検索

もんじゃ

★キーワード検索

- ・見たい動画や情報へダイレクトアクセス
- ・あとで「もう一度見たい」場合にも便利

カテゴリー

- カテゴリーを選択
- カテゴリーを選択
 - 【エリア】 佃島 (13)
 - 【エリア】 勝どき (18)
 - 【エリア】 晴海 (24)
 - 【エリア】 月島 (173)
 - 【エリア】 築地・(旧) 小田原町 (6)
 - 【エリア】 豊洲・東雲 (5)
 - 【テーマ】 交通 (10)
 - 【テーマ】 商店 (街) (18)
 - 【テーマ】 子どもの遊び (42)
 - 【テーマ】 学校・部活等 (11)
 - 【テーマ】 年中行事 (14)
 - 【テーマ】 戦中戦後 (17)
 - 【テーマ】 生活・風景 (61)
 - 【テーマ】 産業・仕事 (26)
 - 【テーマ】 行政・災害 (2)
 - 【テーマ】 路地・長屋 (23)
 - 【テーマ】 近所づきあい (19)
 - 【年代】 食・娯楽 (26)
 - 【年代】 戦中 (19)

★カテゴリー

- ・「エリア」を追加
- ・「産業・仕事」「行政・災害」などテーマを追加
- ・情報の掲載件数を表示



★写真・資料

- ・提供して下さる方が増えました
- (写真、新聞記事、住宅地図...)
- 順次アップしていきます

◇今年度の成果物2 ……月島オーラルヒストリービデオマップ(AR機能付き小冊子)

- マップに対応する番号・動画タイトル・年代
- 1 軍国主義教育になって子どもは子ども(戦中)
 - 2 水にまつわる幼少期の遊び(30年代)
 - 3 リームがし、おぼっこり(30年代)
 - 4 朝霧瀬川の筏で遊んだ小学生時代(30年代)
 - 5 市場で買った物を食べる質も美しい思い出(31-22年頃)
 - 6 月島川からオンボロ船で釣りに行く(32-25年頃)
 - 7 製氷工場の水を抽いに行く(32-25年頃)
 - 8 釣り餌を持った朝霧瀬川(32-25年頃)
 - 9 中学生の頃の遊び(37年頃)
 - 10 岡田川で泳ぐと水上遊藝がやってくる(37年頃)
 - 11 隣近所上がりこんで遊んだ幼少期(30年代)
 - 12 あちこち走り回ってフィールドに遊んだ(30年代)
 - 13 奥二人を連れて帰る後して遊ぶ(30年代)
 - 14 アイスキャンディー屋のあった跡地(30年代)
 - 15 わたし公園での遊び 岡田川と土井(30年代)
 - 16 船に乗ってセミ捕りに行った日比谷公園(30年代)
 - 17 栗園の裏から シラサギオオカズミの窟(30年代)
 - 18 角材で家を作る 金庫裏で三角ベース(30年代)
 - 19 マルメの製氷工場に閉じ込められる(30年代)
 - 20 ミズクラゲをいじめる(30年代)
 - 21 砂利山 柿の木一帯で遊んだ石炭場(30年代)
 - 22 陸海国際見本市会場 2つの楽しみ(30年代)
 - 23 色紙に 横石一上の子どもたちと皆で遊んだ(30年代)
 - 24 先輩・友達と朝霧・長寿までサイクリング(30年代)
 - 25 ボールで遊んだ壁の穴(30年代)
 - 26 月島ならではのドローケ(30年代)
 - 27 駄菓子屋・当たり付のあんこ(30年代)
 - 28 粘土製菓のおじい(30年代)
 - 29 小さい子の遊戯を見ながら遊ぶ(30年代)
 - 30 陸海サンスタースーパーカーコレクション(30年代)
 - 31 親の立場の違いを気にせず遊んだ同級生(30年代)
 - 32 月島フライヤーズ月島少年野球の思い出(30年代)
 - 33 街頭録音と街頭テレビ(30年代)
 - 34 栗園のしょんべん映画館と芝居小屋(30年代)
 - 35 小学生の頃に遊んだもんじや(30年代)
 - 36 ご近所集まってテレビを見る(30年代)
 - 37 校庭の秋祭大会・実業試験館でいいたずら(30年代)
 - 38 陸海国際見本市会場でスケートを楽しむ(30年代)
 - 39 玉子1個手にして通った10円もんじや(30年代)
 - 40 舞台で買ったおでん・蜜パン(30年代)
 - 41 子ども向けもんじや焼き屋(30年代)
 - 42 月島12丁目であった朝の町名(30年代まで)
 - 43 月島の高瀬(実業/カミンリ種別(大正 5))
 - 44 月島の高瀬(30年代)
 - 45 陸海12丁目の高瀬を走って渡る(30年代)
 - 46 陸海12丁目の高瀬を走って渡る(30年代)
 - 47 朝霧瀬川が閉鎖されても遊ばず(30年代前半)
 - 48 明治大正時代に月島に入ってきた人々(明治後編 大正)
 - 49 クラゲが入るぞ！(32年頃)
 - 50 中学校の授業中に3年生の授業を組みに行く(32年頃)
 - 51 危険と隣り合わせだった夜会社の仕事(30-40年代)
 - 52 地元の工場や同様に勤める人が多かった時代(30年頃)
 - 53 夜会社で働いていた夫のこと(30年-平成初め頃まで)
 - 54 夜会社に勤めていた父と仲で見た夕陽(30年代)
 - 55 東家で釣り具屋も買った父(30年代)
 - 56 人情味のある警察官だった父のエピソード(30年代)
 - 57 月島の各種地に縁地帯があった頃(30年代)
 - 58 船で出かけるほど旦那 夫と同級生との交流(30-50年代)
 - 59 仕事を始めた頃のこと/鼻緒すけ実業(30年頃)
 - 60 履物業界の現状と仕事の苦労(現在まで)
 - 61 西仲通り・夜店のにぎわい(30年代)
 - 62 自宅周辺にあった菓業街(戦前)
 - 63 渡船通り・西仲通り商店街のにぎわい(30年代)
 - 64 利き酒の名人だった父・夏の酒販売(30年代)
 - 65 合成酒を飲む職工さんと会話(30年代)

月島 オーラルヒストリー ビデオマップ

●清澄通り[76/94/107] ★都電[16/94]
||
●現存するもの[関連動画番号] ★以前あったもの[関連動画番号]
マップ上のポイントに記載された番号の動画をARでご覧ください
内容により位置が正確でないものものもありません

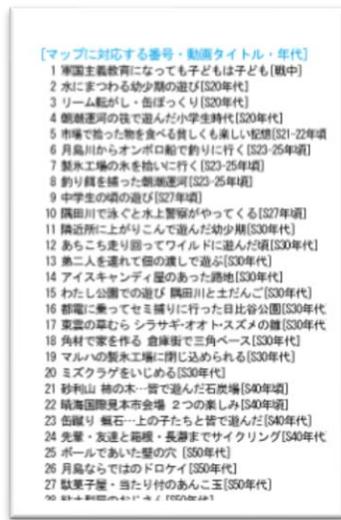


- マップに対応する番号・動画タイトル・年代
- 66 自分で作ったテレビを遠くで見せる(30年頃)
 - 67 毎晩電柱の根で寝る母を繰り返す(30年頃)
 - 68 夕方の買い物のおぼっこり(30年代)
 - 69 この仕事が決まらなくなった出来事(30年代前半)
 - 70 地方の商店にテレビを設置した時の興奮(30年代前半)
 - 71 西仲通り商店街 夕方の混雑ぶり(30年頃)
 - 72 印刷で遊んでいる商店(30年代)
 - 73 先生に殴られ父親から言われたこと(30年代)
 - 74 一軒に四家族が暮らす(戦中)
 - 75 水の溜まった防空壕(戦中)
 - 76 清澄通りを走る(戦中)
 - 77 自宅が警察署に近く強盗被害に(31年頃)
 - 78 長崎への帰郷 カボチャ畑の記憶(319-20年頃)
 - 79 特殊隊員だった兄が帰郷した時のこと(320-21年頃)
 - 80 知らない人が住んでいる(戦後)
 - 81 米が貴重だった頃のお弁当の交換(戦後)
 - 82 中学生の頃 米軍が壊していた陸海(37年頃)
 - 83 草のむぎにぎわい(戦後)
 - 84 子どもの頃の草のむぎの光景(30年代)
 - 85 正月 家の節慶で楽しんだ獅子舞(30年代前半)
 - 86 草市で毎年買ったわらび餅(30-40年代前半)
 - 87 行事を楽しむ 協力する朝(30年代)
 - 88 楽しみだった西仲の祭り(30年代)
 - 89 子どもは自宅で作られた時代(戦前)
 - 90 水がきれいだった頃の朝霧瀬川(戦前)
 - 91 ニニニ事件に巻き込まれた父・家業への思い(戦前/平成)
 - 92 帰郷前と月島に戻った後の生活の変化(319. 27. 30年頃)
 - 93 まち歩きしながら記憶をたどる1(319-27年頃)
 - 94 まち歩きしながら記憶をたどる2(319-27年頃)
 - 95 まち歩きしながら記憶をたどる3(319-27年頃)
 - 96 引継ぎを思いやる警察官の父(30年-30年代)
 - 97 読書好きだった女学生の頃(30年代)
 - 98 両親が地方から上京し結婚した頃の暮らし(30年代)
 - 99 "うちの"平塚にできた月島第一中学校(30-25年頃)
 - 100 岡田川沿いの光景(32-25年頃)
 - 101 生まれ育った街を父と暮らした頃の(30年-30年代)
 - 102 中学生の頃の朝霧と夕陽の光景(30年頃)
 - 103 仕立をしていた父・孝公と父の暮らし(30年代)
 - 104 狭いながらも楽しい我が家(30年代)
 - 105 お酒と縁組にまつわる父の思い出(30年代)
 - 106 泳ぐワナギが獲れた月島川/水上生活(30年代)
 - 107 電車通りから見た青空に輝く富士山(30年代)
 - 108 水上生活をしていた同級生の"家"の印象(30-40年頃)
 - 109 夕暮時の月島にあって住民同士の交流(30-40年代)
 - 110 遠慮しないで話してくれるお年寄り(30年頃)
 - 111 月島に新しい街の繁華(30年代)
 - 112 縁組で遊んでいた頃の思い出(30年代)
 - 113 朝霧瀬川の筏にまつわる話(30年代)
 - 114 父のこだわりの履物/ご近所との会話[平成初め頃頃]
 - 115 定年退職後の転居をしようとした父の楽しみ[平成中頃頃]
 - 116 無邪気「八幡」のここと[平成まで]
 - 117 強がったさんぽんがいた朝霧瀬川(平成初め頃頃)
 - 118 時で思いやりのある人柄で愛された母[平成まで]
 - 119 跡地の生活(30年代)
 - 120 ジンチョウの思い出(30年代)
 - 121 跡地のお化け大会(30年代)
 - 122 高瀬地の生活(30年代)
 - 123 ドラマや映画で使われた家の跡地(30年代)
 - 124 昭和初期の長屋を自ら改造しカフェに再生[現在]
 - 125 ご近所との行き来が盛んだった頃(30年代)
 - 126 真前よくご飯を分けてあげる母(30年代)
 - 127 人情味溢れるご近所とのやりとり(30年代)
 - 128 ご近所さんと一緒に七輪を囲む(30年頃)
 - 129 地域の先輩から学ぶ(30年代)
 - 130 縁組のようなお隣さん(30年代)
 - 131 電子レンジ買~して(30年代)
 - 132 おすそ分けを楽しむに待つ 町会の餅つき(30年代)
 - 133 互いに記憶を預かる(現在まで)

昨年度
正方形（横B5と同じ）サイズ
16P 動画48本掲載
1000部印刷

今年度
A4サイズ
20P 動画138本掲載
3000部印刷予定

◇今年度の成果物2 ……月島オーラルヒストリービデオマップ(AR機能付き小冊子)



月島百景 第1集と第2集を合わせた動画、全138本掲載 (テーマごと・年代順に配置)

マップ上の [番号] → [対応する動画タイトル] → 各ページのサムネイル(説明文) → **ARで視聴可能**

◇今年度の成果物3 ……DVD



上映会放映版

「佃島篇」「月島篇」2枚セット

50セット制作予定

- 語り手、協力者
- 希望者
- 図書館、タイムドーム明石



月島百景～第2集～

約85本のショート動画版 若干数

- 図書館、タイムドーム明石
- ※第1集はお渡し済み
- 希望者

◇今後の方向性

「佃島」

「佃島飯田家前井戸の使用」「表札、屋号、市場関係」「漁師住宅」「近所づきあい」「消防団、防火訓練」
「渡船通り、駄菓子屋」「子どもたちの遊び」「佃小橋、船たまり、漁業組合、徳川家とのお付き合い」
「佃天台地藏尊」「佃説教所、本願寺関係」「住吉講、お祭り関係」「佃煮」

今年度は4名の方にインタビューを実施したが、数として足りないため、来年度分を含めてDVD、冊子を検討中。
(HPへの掲載は確認が取れ次第、順次行う)

「月島」

女性、職人・技術職にもスポットをあてる

◇イベント・成果物等

- ・「イナっこ教室2021」「中央区まるごとミュージアム2021」などへの参加
- ・ HPの更新、DVD制作。オーラルヒストリービデオマップは、年代別の作成を検討したい
- ・ 佃島については、現在まで継承されている貴重な都市空間と伝統、文化を資料などにもまとめていきたい
- ・「上映会・意見交換会」は来年2月ごろ実施予定

◇まちづくりオーラルストーリービデオの活用

- ・小学校と地域の交流促進事業

公開授業として来年度実施を打診中
「町の移り変わり～昔の人々の暮らし～を学ぶ」

- ・マンション住民に向けたビデオ上映会の企画を打診中

勝どき・晴海のマンション、日本橋蠣殻町の婦人部

各年代の生活の記憶が、生き生きとした語り口や表情とともに記録され、
少しずつ蓄積されてきた。

さらにこの活動が続け、テーマや活用目的に合わせたコンテンツとして提供できれば
将来のまちづくり、コミュニティづくりに役立つことはもちろん、まちへの愛着や、
誇りもはぐくむことができる...

